

政策 13 「新成長産業の創出・育成」

政策 13 「新成長産業の創出・育成」は、宮城県における新たな経済活力の創出を促すため、医療や福祉、環境、情報などの分野で、今後急速な成長が見込める事業に新たに取り組む企業や創造的、革新的な事業展開を行うベンチャービジネスの創出・育成を目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策 13 の認知度

1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 20.5%、低認知度群は 79.4%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、男性（23.5%）が女性（17.5%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（28.0%）が 65 歳未満（17.8%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

栗原圏域（26.6%）が、回答者全体と比較して 6.1 ポイント高い。

気仙沼・本吉圏域（10.7%）が、回答者全体と比較して 9.8 ポイント低い。

(%)

政策 13 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	1.2	19.3	20.5	60.6	18.8	79.4	100.0

性別	男性	1.4	22.1	23.5	59.1	17.3	76.4	100.0
	女性	1.0	16.5	17.5	62.2	20.3	82.5	100.0
年齢別	65 歳未満	1.3	16.5	17.8	61.7	20.5	82.2	100.0
	65 歳以上	1.0	27.0	28.0	57.7	14.3	72.0	100.0

圏域別	仙台	0.9	20.8	21.7	59.9	18.4	78.3	100.0
	仙南	1.7	20.5	22.2	59.4	18.3	77.7	100.0
	大崎	1.3	23.9	25.2	53.9	20.9	74.8	100.0
	栗原	1.2	25.4	26.6	55.4	18.1	73.5	100.0
	登米	0.9	18.6	19.5	62.8	17.7	80.5	100.0
	石巻	1.6	14.0	15.6	64.5	19.9	84.4	100.0
	気仙沼・本吉	0.9	9.8	10.7	69.4	20.0	89.4	100.0

有効回答者数 1,613 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 26.0%、低認知度群は 74.0%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域（66.7%）が 40.7 ポイント、栗原圏域（42.9%）が 16.9 ポイント、石巻圏域（35.0%）が 9.0 ポイント高い。

学識等全体における高認知度群は 50.0%、低認知度群は 50.0%である。

(%)

政策 13 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	2.1	23.9	26.0	59.3	14.7	74.0	100.0	
圏 域 別	仙台	0.9	21.9	22.8	57.0	20.2	77.2	100.0
	仙南	3.6	20.0	23.6	56.4	20.0	76.4	100.0
	大崎	2.6	19.7	22.3	65.8	11.8	77.6	100.0
	栗原	0.0	42.9	42.9	57.1	0.0	57.1	100.0
	登米	0.0	66.7	66.7	25.0	8.3	33.3	100.0
	石巻	10.0	25.0	35.0	45.0	20.0	65.0	100.0
	気山沼・本吉	0.0	23.7	23.7	76.3	0.0	76.3	100.0

有効回答者数 327 名

学識者等全体	10.9	39.1	50.0	48.4	1.6	50.0	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 64 名

2. 政策 13 の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 63.3%、低関心度群は 36.7% である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（65.7%）が女性（34.3%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（71.2%）が 65 歳未満（60.4%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

大崎圏域（69.4%）では、回答者全体と比較して 6.1 ポイント高い。

石巻圏域（54.0%）では、回答者全体と比較して 9.3 ポイント低い。

(%)

政策 13 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	15.2	48.1	63.3	30.3	6.4	36.7	100.0

性別	男性	16.8	48.9	65.7	28.8	5.5	34.3	100.0
	女性	13.6	47.2	60.8	32.1	7.2	39.3	100.0
年齢別	65 歳未満	13.0	47.4	60.4	33.3	6.3	39.6	100.0
	65 歳以上	21.4	49.8	71.2	22.3	6.6	28.9	100.0

圏域別	仙台	15.0	51.4	66.4	28.0	5.6	33.6	100.0
	仙南	11.6	52.4	64.0	29.6	6.4	36.0	100.0
	大崎	20.0	49.4	69.4	25.5	5.1	30.6	100.0
	栗原	19.6	45.7	65.3	27.9	6.8	34.7	100.0
	登米	16.0	43.7	59.7	33.8	6.6	40.4	100.0
	石巻	9.1	44.9	54.0	38.0	8.0	46.0	100.0
	気山沼・本吉	13.8	48.3	62.1	31.3	6.7	38.0	100.0

有効回答者数 1,633 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 58.0%、低関心度群は 42.0%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域(91.7%)では 33.7 ポイント、栗原圏域(71.4%)では 13.4 ポイント高い。

石巻圏域(47.6%)では、回答者全体と比較して 10.4 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 84.6%、低関心度群は 15.4%である。

(%)

政策 13 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった			
市町村職員全体	9.1	48.9	58.0	38.4	3.6	42.0	100.0	
圏 域 別	仙台	6.8	47.9	54.7	41.9	3.4	45.3	100.0
	仙南	9.1	47.3	56.4	38.2	5.5	43.7	100.0
	大崎	9.2	50.0	59.2	35.5	5.3	40.8	100.0
	栗原	14.3	57.1	71.4	28.6	0.0	28.6	100.0
	登米	16.7	75.0	91.7	8.3	0.0	8.3	100.0
	石巻	9.5	38.1	47.6	47.6	4.8	52.4	100.0
	気山沼・本吉	10.5	50.0	60.5	39.5	0.0	39.5	100.0

有効回答者数 331 名

学識者等全体	36.9	47.7	84.6	15.4	0.0	15.4	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 65 名

3. 政策 13 の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 41.1%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 37.8%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 29.8%と推定できる。

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	20.9	(79.1)
満足度 60点未満の割合		62.0
要検討領域にある回答者全体の割合		41.1

有効回答者数；重視度 1,610人、満足度 1,586人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策13重視度	政策13満足度
度数	有効	1610	1586
	欠損値	111	135
平均値		69.32	50.03
平均値の標準誤差		.437	.429
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.528	17.096
分散		307.240	292.286
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	75.00	55.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	55.0	15.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	17.3	(82.7)
満足度 60点未満の割合		55.1
要検討領域にある回答者全体の割合		37.8

有効回答者数；重視度 335人、満足度 334人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策13重視度	政策13満足度
度数	有効	335	334
	欠損値	3	4
平均値		67.30	52.69
平均値の標準誤差		.840	.822
中央値		70.00	55.00
最頻値		70	50
標準偏差		15.378	15.015
分散		236.468	225.450
範囲		95	100
最小値		5	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	50.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	90.0	65.0	25.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

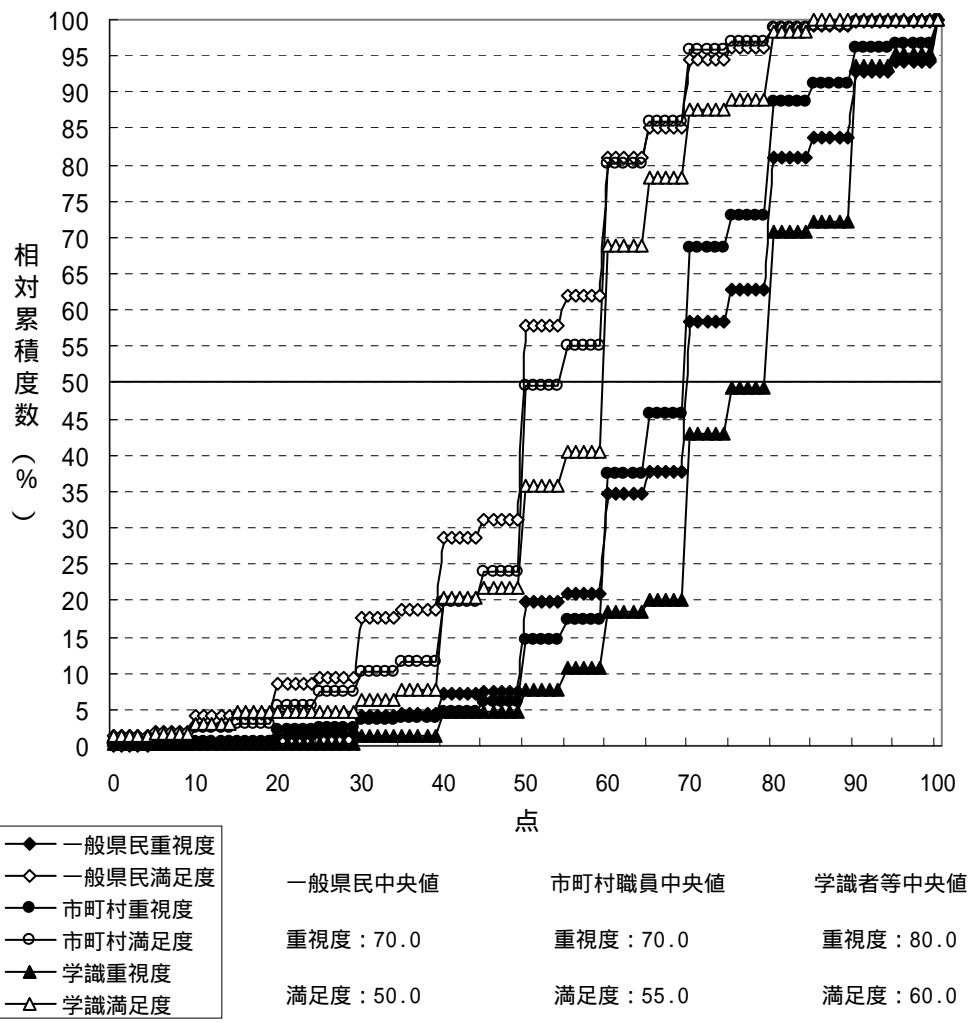
	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	10.8	(89.2)
満足度 60点未満の割合		40.6
要検討領域にある回答者全体の割合		29.8

有効回答者数；重視度 65人、満足度 64人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策13重視度	政策13満足度
度数	有効	65	64
	欠損値	4	5
平均値		75.31	56.33
平均値の標準誤差		1.834	2.030
中央値		80.00	60.00
最頻値		70	60
標準偏差		14.787	16.238
分散		218.654	263.684
範囲		70	80
最小値		30	5
最大値		100	85
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	70.00	55.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

「政策13 新成長産業の創出・育成」



3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、男性女性ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、男性女性ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 42.4%、女性 39.5%と推定できる。

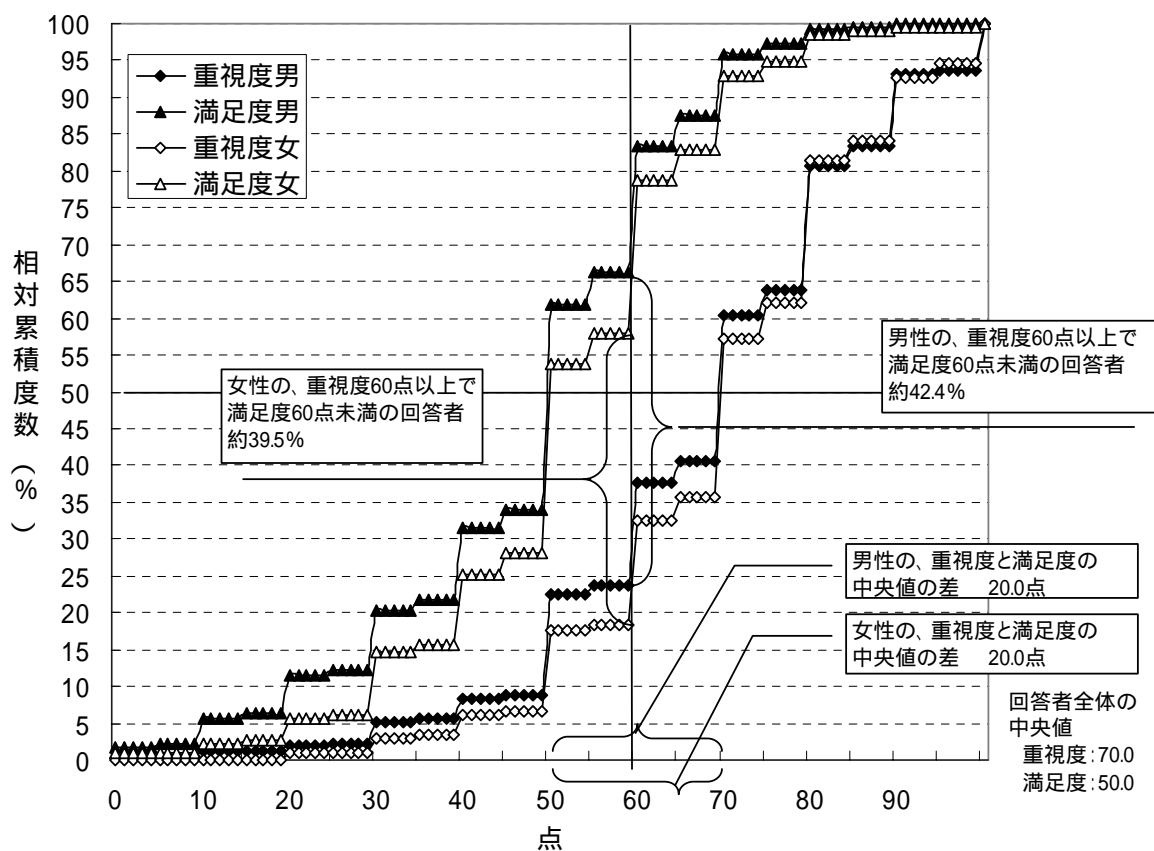
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	23.8 (76.2)	18.4 (81.6)
満足度 60 点未満の割合	66.2	57.9
要検討領域にある回答者全体の割合	42.4	39.5

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策13重視度	政策13満足度
度数	有効	772	766
	欠損値	31	37
平均値		68.25	48.10
平均値の標準誤差		.669	.637
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.588	17.626
分散		345.511	310.668
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	50.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策13重視度	政策13満足度
度数	有効	819	801
	欠損値	77	95
平均値		70.14	51.97
平均値の標準誤差		.576	.576
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		16.480	16.294
分散		271.588	265.479
範囲		80	100
最小値		20	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	75.00	60.00
	75	80.00	60.00

3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 40.6%、65 歳以上 42.0%と推定できる。

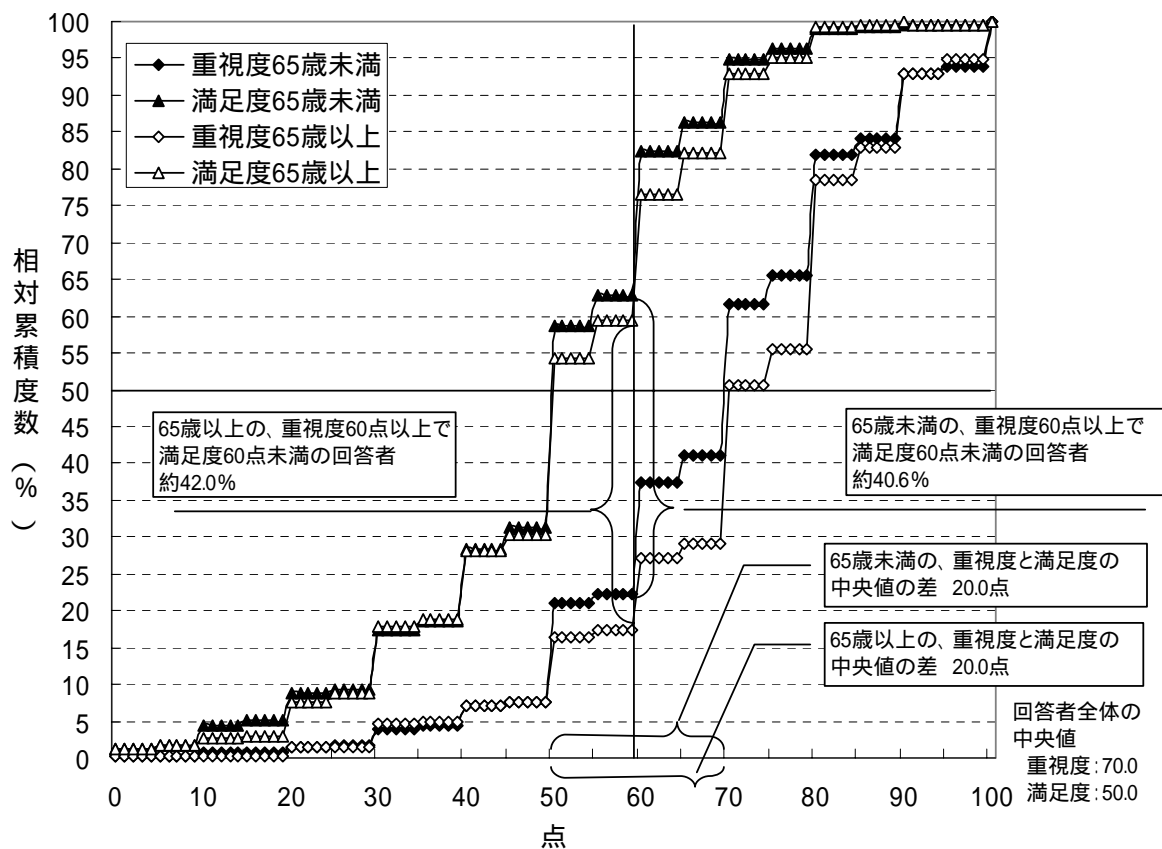
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）(%)

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	22.2 (77.8)	17.4 (82.6)
満足度 60 点未満の割合	62.8	59.4
要検討領域にある回答者全体の割合	40.6	42.0

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策13重視度	政策13満足度
度数	有効	1187	1168
	欠損値	53	72
平均値		68.50	49.78
平均値の標準誤差		.511	.499
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.595	17.042
分散		309.596	290.439
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策13重視度	政策13満足度
度数	有効	402	397
	欠損値	55	60
平均値		71.33	51.02
平均値の標準誤差		.859	.859
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.231	17.123
分散		296.915	293.212
範囲		90	90
最小値		10	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	60.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体 (70.0 点) と 5 ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、回答者全体 (50.0 点) と 5 ポイント以上差のある圏域はない。

重視度の四分位偏差は、登米圏域 (14.4 点) が回答者全体 (10.0 点) よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、大崎圏域 (7.5 点) 、石巻圏域 (6.3 点) の 2 圏域が回答者全体 (10.0 点) よりも小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域 (80.0 点) が回答者全体 (70.0 点) よりも 10 ポイント、

登米圏域 (75.0 点) が 5 ポイント高く、仙南圏域 (65.0 点) が 5 ポイント低い。

満足度の中央値は、大崎圏域 (60.0 点) 、栗原圏域 (60.0 点) 、登米圏域 (60.0 点) の 3 圏域が回答者全体 (55.0 点) よりも 5 ポイント高く、仙台圏域 (50.0 点) 、仙南圏域 (50.0 点) 、石巻圏域 (50.0 点) の 3 圏域が 5 ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、仙台圏域 (12.5 点) が回答者全体 (10.0 点) よりも大きく、仙南圏域 (5.0 点) 、登米圏域 (5.0 点) の 2 圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域 (10.6 点) 、仙南圏域 (10.0 点) 、仙台圏域 (7.5 点) 、登米圏域 (6.3 点) の 4 圏域が回答者全体 (5.0 点) よりも大きい。

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値

(点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	51.3	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	45.0	40.0	40.0	47.5	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	15.0	20.0	11.3	12.5	20.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	14.4	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	7.5	10.0	10.0	6.3	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値

(点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	65.0	70.0	80.0	75.0	70.0	70.0
	満足度	55.0	50.0	50.0	60.0	60.0	60.0	50.0	52.5
	かい離	15.0	20.0	15.0	10.0	20.0	15.0	20.0	17.5
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	55.0	60.0	60.0	60.0	70.0	60.0	60.0
	満足度	50.0	45.0	40.0	50.0	60.0	55.0	40.0	50.0
	かい離	10.0	10.0	20.0	10.0	0.0	15.0	20.0	10.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	70.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	70.0	67.5	61.3	60.0
	かい離	20.0	20.0	10.0	20.0	10.0	12.5	18.8	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	12.5	5.0	10.0	10.0	5.0	10.0	10.0
	満足度	5.0	7.5	10.0	5.0	5.0	6.3	10.6	5.0

4. 政策 13 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 1 「医療・福祉関連産業の創出・育成」(48.6%) である。

第 2 位は施策 2 「環境関連産業の創出・育成」(15.5%) である。

第 3 位は施策 4 「食関連産業の創出・育成」(13.1%) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 1 「医療・福祉関連産業の創出・育成」(30.0%) である。

第 2 位は施策 2 「環境関連産業の創出・育成」(20.1%) である。

第 3 位は施策 4 「食関連産業の創出・育成」(19.8%) である。

学識者では、

第 1 位は施策 2 「環境関連産業の創出・育成」(30.3%) である。

第 2 位は施策 1 「医療・福祉関連産業の創出・育成」(19.7%) と施策 4 「食関連産業の創出・育成」(19.7%) である(施策 1 と施策 4 が共に第 2 位になっている)。

性別

一般県民では、

性別毎の各施策の優先度は、男女とも、回答者全体と同じである。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

第 1 位は、65 歳未満 65 歳以上とも施策 1 「医療・福祉関連産業の創出・育成」である。

第 2 位は、65 歳未満では施策 2 「環境関連産業の創出・育成」、65 歳以上では施策 4 「食関連産業の創出・育成」である。

第 3 位は、65 歳未満では施策 4 「食関連産業の創出・育成」、65 歳以上では施策 2 「環境関連産業の創出・育成」である。

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、全圏域とも施策 1 「医療・福祉関連産業の創出・育成」である。

第 2 位は、仙南、大崎、栗原、登米、石巻の 5 圏域では施策 2 「環境関連産業の創出・育成」、仙台、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 4 「食関連産業の創出・育成」である。

第 3 位は、仙南、大崎、栗原、登米の 4 圏域では施策 4 「食関連産業の創出・育成」、仙台、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 2 「環境関連産業の創出・育成」、登米、石巻の 2 圏域では施策 5 「その他の新成長産業の創出・育成」である（登米圏域では施策 4 と施策 5 が共に第 3 位になっている）。

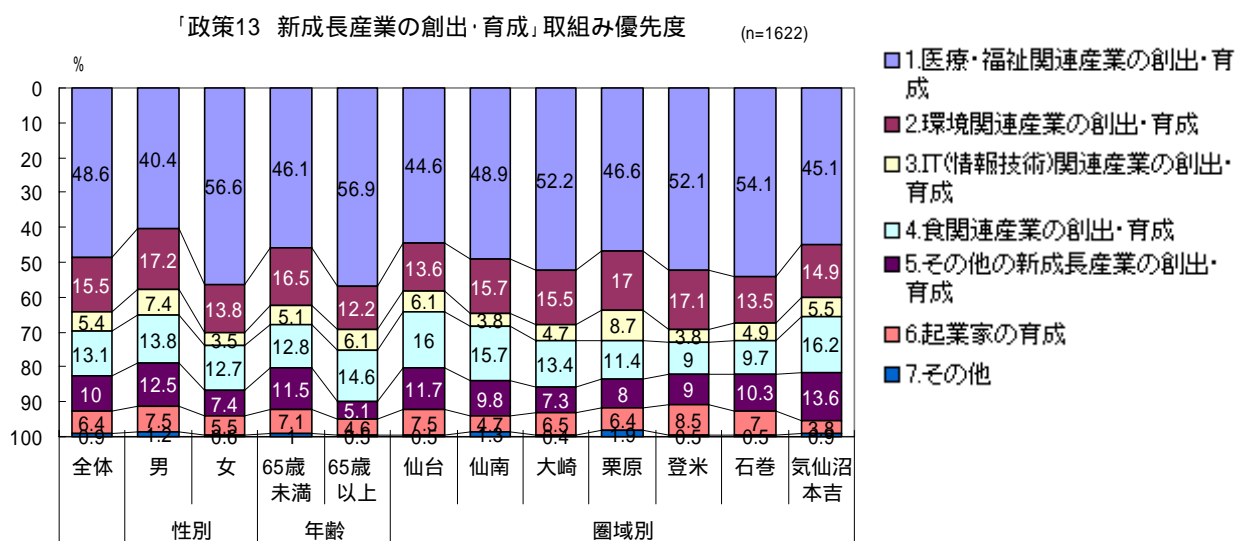
市町村職員では、

第 1 位は、仙台、仙南、大崎、登米の 4 圏域では施策 1 「医療・福祉関連産業の創出・育成」、栗原圏域では施策 2 「環境関連産業の創出・育成」、石巻圏域では施策 5 「その他の新成長産業の創出・育成」、気仙沼・本吉圏域では施策 4 「食関連産業の創出・育成」である。

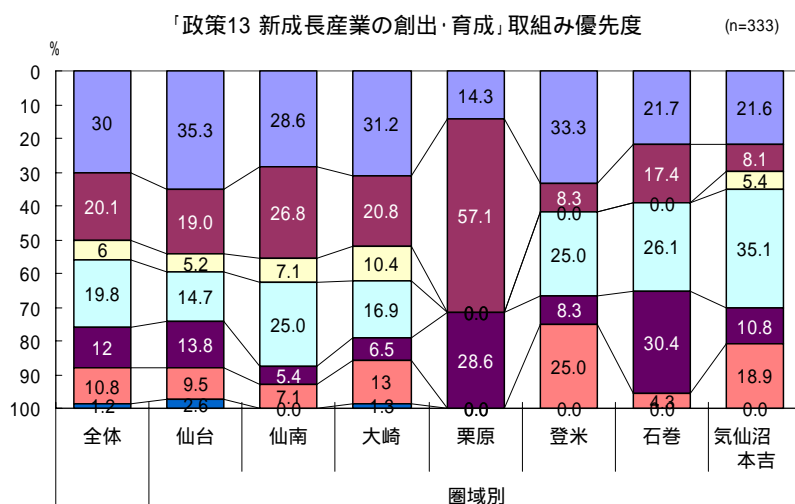
第 2 位は、仙台、仙南、大崎の 3 圏域では施策 2 「環境関連産業の創出・育成」、登米、石巻の 2 圏域では施策 4 「食関連産業の創出・育成」、栗原圏域では施策 5 「その他の新成長産業の創出・育成」、登米圏域では施策 6 「起業家の育成」、気仙沼・本吉圏域では施策 1 「医療・福祉関連産業の創出・育成」である（登米圏域では施策 4 と施策 6 が共に第 2 位になっている）。

第 3 位は、仙台、仙南、大崎の 3 圏域では施策 4 「食関連産業の創出・育成」、栗原、石巻の 2 圏域では施策 1 「医療・福祉関連産業の創出・育成」、気仙沼・本吉圏域では施策 6 「起業家の育成」である。

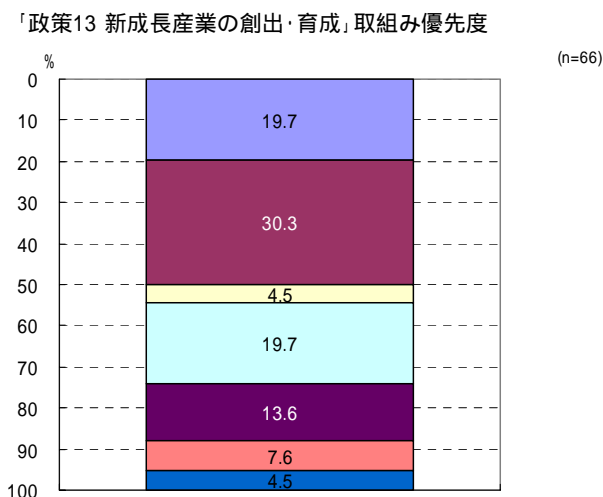
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 13 「新成長産業の創出・育成」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.医療・福祉関連産業の創出・育成	48.6	40.4	56.6	46.1	56.9	44.6	48.9	52.2	46.6	52.1	54.1	45.1
2	2.環境関連産業の創出・育成	15.5	17.2	13.8	16.5	12.2	13.6	15.7	15.5	17.0	17.1	13.5	14.9
3	3.IT(情報技術)関連産業の創出・育成	5.4	7.4	3.5	5.1	6.1	6.1	3.8	4.7	8.7	3.8	4.9	5.5
4	4.食関連産業の創出・育成	13.1	13.8	12.7	12.8	14.6	16.0	15.7	13.4	11.4	9.0	9.7	16.2
5	5.その他の新成長産業の創出・育成	10.0	12.5	7.4	11.5	5.1	11.7	9.8	7.3	8.0	9.0	10.3	13.6
6	6.起業家の育成	6.4	7.5	5.5	7.1	4.6	7.5	4.7	6.5	6.4	8.5	7.0	3.8
7	7.その他	0.9	1.2	0.6	1.0	0.5	0.5	1.3	0.4	1.9	0.5	0.5	0.9

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.医療・福祉関連産業の創出・育成	30.0	35.3	28.6	31.2	14.3	33.3	21.7	21.6
2	2.環境関連産業の創出・育成	20.1	19.0	26.8	20.8	57.1	8.3	17.4	8.1
3	3.IT(情報技術)関連産業の創出・育成	6.0	5.2	7.1	10.4	0.0	0.0	0.0	5.4
4	4.食関連産業の創出・育成	19.8	14.7	25.0	16.9	0.0	25.0	26.1	35.1
5	5.その他の新成長産業の創出・育成	12.0	13.8	5.4	6.5	28.6	8.3	30.4	10.8
6	6.起業家の育成	10.8	9.5	7.1	13.0	0.0	25.0	4.3	18.9
7	7.その他	1.2	2.6	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.医療・福祉関連産業の創出・育成	19.7
2	2.環境関連産業の創出・育成	30.3
3	3.IT(情報技術)関連産業の創出・育成	4.5
4	4.食関連産業の創出・育成	19.7
5	5.その他の新成長産業の創出・育成	13.6
6	6.起業家の育成	7.6
7	7.その他	4.5

